2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月５日

上 場 会 社 名　　株式会社 松風　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7979　　URL https://www.shofu.co.jp/
代　　表　　者　（役職名） 代表取締役社長 社長執行役員 CEO　（氏名） 髙見　哲夫
問合せ先責任者　（役職名） 財務部長　（氏名） 浅田　和俊　TEL　075-561-1112
半期報告書提出予定日　2026年11月11日　配当支払開始予定日　2026年11月30日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	21,406	12.1	3,432	22.0	3,486	17.7	3,944	51.9
2026年３月期中間期	19,095	1.1	2,813	△7.5	2,962	△1.5	2,597	9.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　4,585百万円（　58.3%）　2026年３月期中間期　2,896百万円（　313.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	110.67	110.46
2026年３月期中間期	73.02	72.79

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	62,546	51,939	82.9	1,452.32
2026年３月期	57,706	48,689	84.1	1,363.94

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　51,829百万円　2026年３月期　48,541百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	—	21.00	—	39.00	60.00
2027年３月期	—	39.00			
2027年３月期(予想)			—	28.00	67.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
２．2026年３月期期末配当金には、特別配当 ５円00銭が含まれております。
３．2027年３月期中間配当金には、特別配当 12円00銭が含まれております。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,958	7.4	6,003	14.9	5,890	0.5	6,077	24.3	170.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　１社（社名）SHOFU DENTAL MIDDLE EAST&AFRICA FZCO、　除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

(注)詳細は、添付資料P.８「２．中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	35,788,178株	2026年３月期	35,788,178株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	101,170株	2026年３月期	198,857株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	35,641,375株	2026年３月期中間期	35,566,178株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.３「(３)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（重要な後発事象の注記） ……11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、一部の地域において弱さがみられるものの緩やかな持ち直しが続いた一方で、中東情勢の長期化に伴う原油価格の上昇や、欧米における利上げによる世界的な金利上昇の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。国内経済についても、雇用や所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続いており、個人消費にも持ち直しの動きが見られるものの、中東情勢などの影響、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響、金融資本市場の変動の影響などが引き続き懸念される状況となりました。

当社グループの当中間連結会計期間の売上高は、21,406百万円と前年同期比2,311百万円(12.1%)の増収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、12,721百万円(対売上高59.4%)と前年同期比1,619百万円(14.6%)の増収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により3,432百万円と前年同期比618百万円(22.0%)の増益となりました。

経常利益は、会費収入の減少、為替差損の増加などにより営業外損益は減少したものの、増収効果により3,486百万円と前年同期比523百万円(17.7%)の増益となりました。

特別利益として投資有価証券売却益1,956百万円を計上した結果、税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する中間純利益は、3,944百万円と前年同期比1,347百万円(51.9%)の増益となりました。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに中間連結会計期間として、過去最高の業績となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、歯科切削加工用セラミックス「松風ディスクZRルーセントスープラ」、歯科切削加工用レジン材料「松風ブロックHCスーパーハード」及び「松風ブロックPEEK」などのCAD/CAM関連製品が売上に寄与し、前年同期比増収となりました。海外では、北米・中南米、欧州及び中国以外のアジア・オセアニア地域で堅調に売上を伸ばし、さらに為替変動によるプラスの影響もあり、中国を含むすべての地域で売上を伸ばした結果、前年同期比増収となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は、20,255百万円と前年同期比2,271百万円（12.6%）の増収となりました。販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により、営業利益は3,484百万円となり、前年同期比614百万円（21.4%）の増益となりました。

(ネイル関連事業)

国内では、コモディティ化の進展や他社攻勢の影響を背景に、主力ジェルネイル製品の売上が減少し、前年同期比で減収となりました。海外では、米国市場においては、安価なジェルネイル製品の攻勢を受け、前年同期比で減収となりました。一方、台湾市場においては、ネイル・ハンドケア製品「ARTiS di Voce」の販路拡大や製品ラインナップの拡充が奏功したことで売上が好調に推移し、前年同期比で大幅な増収となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は1,097百万円と、前年同期比33百万円(3.2%)の増収となり、利益面では営業損失52百万円となったものの前年同期比7百万円の増益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当中間連結会計期間の売上高は53百万円と、前年同期比5百万円(11.5%)の増収となったものの、販売費及び一般管理費の増加により営業損失1百万円と前年同期比3百万円の減益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,839百万円増加し、62,546百万円となりました。現金及び預金や、保有する投資有価証券の時価の上昇による増加が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,589百万円増加し、10,606百万円となりました。1年内返済予定を含む長期借入金の増加が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,250百万円増加し、51,939百万円となりました。利益剰余金の増加が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント低下し、82.9%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年10月28日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,121	13,064
受取手形及び売掛金	4,598	4,348
有価証券	143	141
商品及び製品	10,127	9,731
仕掛品	2,028	2,416
原材料及び貯蔵品	1,610	1,711
その他	1,271	1,311
貸倒引当金	△45	△53
流動資産合計	29,855	32,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,595	14,497
減価償却累計額	△7,354	△7,441
建物及び構築物（純額）	7,241	7,055
その他	15,616	15,943
減価償却累計額	△9,065	△9,194
その他（純額）	6,551	6,749
有形固定資産合計	13,792	13,804
無形固定資産	619	583
投資その他の資産		
投資有価証券	10,112	11,608
退職給付に係る資産	2,464	2,535
その他	931	1,408
貸倒引当金	△68	△66
投資その他の資産合計	13,439	15,485
固定資産合計	27,851	29,873
資産合計	57,706	62,546

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,297	1,125
１年内返済予定の長期借入金	－	325
未払法人税等	1,128	1,332
契約負債	130	226
役員賞与引当金	48	23
その他	3,699	3,314
流動負債合計	6,305	6,347
固定負債		
長期借入金	－	912
退職給付に係る負債	211	219
その他	2,499	3,126
固定負債合計	2,710	4,258
負債合計	9,016	10,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,968	5,968
資本剰余金	6,176	6,168
利益剰余金	26,935	29,491
自己株式	△196	△99
株主資本合計	38,884	41,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,466	5,158
為替換算調整勘定	3,995	4,025
退職給付に係る調整累計額	1,195	1,116
その他の包括利益累計額合計	9,657	10,299
新株予約権	54	18
非支配株主持分	93	91
純資産合計	48,689	51,939
負債純資産合計	57,706	62,546

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	19,095	21,406
売上原価	7,561	8,495
売上総利益	11,534	12,911
販売費及び一般管理費	8,721	9,478
営業利益	2,813	3,432
営業外収益		
受取利息	34	41
受取配当金	94	132
会費収入	84	59
持分法による投資利益	1	－
その他	165	90
営業外収益合計	380	323
営業外費用		
支払利息	3	17
当社主催会費用	154	163
為替差損	31	47
持分法による投資損失	－	3
その他	41	38
営業外費用合計	231	270
経常利益	2,962	3,486
特別利益		
投資有価証券売却益	711	1,956
特別利益合計	711	1,956
税金等調整前中間純利益	3,674	5,443
法人税等	1,076	1,498
中間純利益	2,597	3,944
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	0	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	2,597	3,944

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	2,597	3,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	279	691
為替換算調整勘定	63	29
退職給付に係る調整額	△45	△79
その他の包括利益合計	298	641
中間包括利益	2,896	4,585
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,888	4,586
非支配株主に係る中間包括利益	7	△1

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	デンタル関連事業	ネイル関連事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,983	1,063	48	19,095	―	19,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	2	2	△2	―
計	17,983	1,063	50	19,098	△2	19,095
セグメント利益又は損失(△)	2,869	△60	2	2,810	2	2,813

（注）１ セグメント間取引消去によるものであります。
　　２ セグメント利益又は損失(△)は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	デンタル関連事業	ネイル関連事業	その他の事業	
日本	7,630	644	48	8,324
北米・中南米	2,425	74	―	2,499
欧州	4,014	―	―	4,014
アジア	3,913	344	―	4,258
顧客との契約から生じる収益	17,983	1,063	48	19,095
その他の収益	―	―	―	―
外部顧客への売上高	17,983	1,063	48	19,095

（注）外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	デンタル関連事業	ネイル関連事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,255	1,097	53	21,406	―	21,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	3	3	△3	―
計	20,255	1,097	57	21,410	△3	21,406
セグメント利益又は損失(△)	3,484	△52	△1	3,429	3	3,432

（注）１ セグメント間取引消去によるものであります。
　　２ セグメント利益又は損失(△)は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	デンタル関連事業	ネイル関連事業	その他の事業	
日本	8,311	616	53	8,981
北米・中南米	2,825	51	―	2,877
欧州	4,561	―	―	4,561
アジア	4,556	429	―	4,986
顧客との契約から生じる収益	20,255	1,097	53	21,406
その他の収益	―	―	―	―
外部顧客への売上高	20,255	1,097	53	21,406

（注）外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

（重要な後発事象の注記）

連結子会社の吸収合併

当社は、2026年７月９日開催の取締役会において、当社の連結子会社である松風バイオフィックス株式会社（以下、「松風バイオフィックス」といいます。）を吸収合併することについて決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。当該合併契約に基づき、当社を存続会社、松風バイオフィックスを消滅会社とする吸収合併を2026年10月１日付で実施いたしました。

１．取引の概要

結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称　松風バイオフィックス

事業の内容　　歯科材料及び歯科用機器等の販売

企業結合日

2026年10月１日

企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式により、松風バイオフィックスを解散いたしました。

結合後企業の名称

株式会社松風

企業結合の目的

歯科におけるインプラント治療は、噛む機能や見た目の美しさが改善できる治療法として定着しています。これまで、当社グループでは松風バイオフィックスを通じてインプラント事業を展開してまいりましたが、歯科医療のデジタル化が加速する中、デジタル・デンティストリー領域におけるシステム提案力の強化が求められていることから、今般松風バイオフィックスを吸収合併し、インプラント事業を当社事業に組み込むことにより、経営資源の最適化と松風ブランドの競争力の向上を図ってまいります。

２．実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　2019年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　2019年１月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。